



今月号から巻頭文は役員の登場です！
1回目は、黒田支援プログラム部会長です。
次号は、島田運営委員の予定です！お楽しみに！



Letter

2003.9.9 VOL.8

CODE海外災害援助市民センター発行
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10
TEL : 078-578-7744 FAX : 078-576-3693
e-mail info@code-jp.org URL <http://www.code-jp.org/>
郵便振替 : 00930-0-330579

医療・福祉の現場から

支援プログラム部会長 黒田裕子

阪神・淡路大震災から10年目を迎えようとしている今、私にとってはあの日・あの時のことが昨日の事のように目に焼き付いている。

AM4時に起床し和室にて原稿に筆を走らせている時、突然襲った数秒の地震はこの世の中を一瞬にして変えたのである。いつも書斎で書き物をする私には運が良かったとしか言えない。書斎にいたならば今、ここに私の「いのち」は存在しないのである。部屋の光景を思い出せば身震いするほどだ。

私の人生も、あの日、あの時より大きく変化した。「今しか出来ないことを今やろう」が私の動機づけとなった。避難所となった市立体育館での一番の受け入れは、男性の死者であった。体育館の人口密度はアッという間に高くなり、夕方になると1,200人の被災者が身を寄せられた。そして、そこには様々なニーズが待ち受けていた。想像を絶する出来事が多かった。これまでに遭遇したこともない数々の出来事は、現代社会のお粗末ささえも気づかせてくれるものであった。

避難所での「医療・福祉」の部分での継続的な24時間のケアが1ヵ月間開始された。震災後3日目に応援に駆け付けて下さった、浜松の医師・看護師は夜になると避難所の体育館で宿泊をし、22時～5時の間に二交代体制をはかりながら支援をしてくださった。24時間常駐している我々にとっては、心強いものがあつた。避難所での「医療」体制の始まりは、環境の充実に視点を置くことであった。医療を必要としている人、家を失っていき場のない人、家は半壊だが、次地震があったり余震があればと不安に苛まれている人など様々なニーズと向き合いトライアージをした。

トライアージによってはひとりの人としてのいのちは、大きく分かれ道ともなることが明らかになった。また、その活動は主として避難所全体の保健衛生に目を向けることであった。感染予防と衛生面の管理、環境面の管理、およびメンタルケ

アに重点を置き対応した。そして、こうした環境下では、集団活動の中での人間関係づくりが重要なファクタ - であった。

1ヵ月が過ぎると、被災者にとっては、次の『災害』が待ち受けていた。それは、抽選で当たった次の住み家『仮設住宅』のはじまりであった。被災者は地域の中に分散し、それに伴って私の活動も狭い地域から広域へ移っていった。

複雑化、多様化するニーズを点でとらえるのではなく、線としてつなぐために「地域」と「暮らし」の一体化に視点を当て、コミュニティーケアの確立を目指した活動に焦点を定めたのである。コミュニティーケアとは言うまでもないが、1960年代初めにイギリスにおいて精神障害者が地域社会（コミュニティー）の中で人間らしく生活を営み得ることを目指した援助理念である。日本では阪神大震災によって、この必要性和重要性がいわれるようになったのであるが、我々はこの対象を精神障害者に限らず、広義にとらえた。コミュニティーは単に「地域社会」を意味するのではなく、共通の背景や興味を有する人々の自由な意思による集団を意味し、人々の結びつきを表す。つまり「暮らし」「生活」における大切な基盤である。そのことは、高齢社会の安全維持を約束するひとつともなった。仮設住宅が終わる頃、トルコ、台湾の地震が発生し、阪神・淡路大震災と同様な状況がニュースで報道された。そして、私はトルコ、台湾への支援にこれまでの活動を活かすべく参加させて頂いた。そこでも、阪神大震災と全く同様のケアの重要性があつた。文化の違いがあっても根っこは一つであり対象は人間であるからだ。

阪神・トルコ・台湾の経験を活かし更に学び、成熟したいとの思いからCODEに入会させて頂いた。中でも特に「支援部隊」としての活動をしたいと考えた。

CODEでの多くの人々との出会いの財産を大切に、今後の活動のエネルギーとしていきたい。

HAT神戸国際機関訪問ツアー開催

昨年開催いたしましたHAT神戸国際機関訪問ツアーを今年も関係機関にご協力を頂き開催致します。HAT神戸内にあるアジア防災センター(ADRC)、国連地域開発センター防災計画兵庫事務所(UNCRD)、国連人道問題調整事務所リリーフウェブ神戸オフィス(UNOCHA)、国際協力事業団兵庫国際センター(JICA)です。普段は訪問する機会の少ない国際機関を訪問し、職員の方々から直接お話を聞く機会を持つことで国際的な機関への興味を深める機会となれればと考えています。興味のある一機関のみの参加も受け付けておりますので、ぜひみなさま振るってご参加ください。

【日 程】

10月15日(水) 15:00 人と防災未来センターひと未来館前集合
15:30～16:30 UNCRD
16:45～17:45 JICA
10月16日(木) 15:00 人と防災未来センターひと未来館前集合
15:30～16:30 ADRC
16:45～17:45 UNOCHA

【参加費】無料

【定 員】20名

(会場の都合上、事前お申し込みを事務局までお願いします)

【担 当】事務局 斉藤容子

ミニミニレポート

JICA留学生セミナー報告

国際協力事業団(JICA)兵庫国際センターとの委託事業で、8月4日(月)～8月9日(土)まで留学生セミナーを開催しました。K OBEならではの特色を生かし「阪神淡路大震災と市民活動」というテーマでコース設定をしました。人と防災未来センターや淡路島の野島断層の見学を踏まえた上で、「まちづくり」「災害救援」「障害者支援」「在日外国人支援」そして「被災当事者からの話」などの講義を受けました。

参加者は、日本全国の大学で学んでいる留学生14名です。留学生の出身国は、中国、ベトナム、バングラデシュ、モンゴル、ウズベキスタンやブラジルと様々です。それぞれに「地震発生のメカニズムについて」「在日外国人支援について」や「NGOについて」など問題意識を高く持った学生が集まりました。質疑や講師との意見交換も活発に行われ、有意義な1週間を過ごしたと思います。

コース終了後の彼等の感想を、一部ご紹介します。
「どういう風に地震が発生するのかなど地震に関して基本的なことを学ぶことが出来た。」
「地震とコミュニティの反応について多くのことを学んだ。」
「地震についてまた別の側面、見解を知ることが出来た。」
「地震から今までの間、いろいろな活動に参加した人々の話を聞くのは面白かった。」

災害は、どこの国でも起こります。参加した学生それぞれが、自分の国に帰った時に、今回学んだことを少しでも教訓にして実践していくきっかけになればと考えています。

専門セミナーvol.3報告

専門セミナーとして医療、福祉従事者を対象に、昨年12月に「災害時の段階別年間教育 - 災害時におけるボランティアの緊急活動 -」、今年に入って5月には「病院・福祉施設の防災対策」を開催し、今回8月17日(日)に「災害看護」として講師に東京都立広尾病院の山崎達枝さんを講師にお迎えして開催しました。

兵庫県内はもとより遠くは三重県、神奈川県より看護師の方を中心に約50名の方にお集まり頂きました。

国内での災害救援はもちろんのことHuMA(災害人道医療支援会)理事としても海外での救援活動の豊富なご経験の中から講義は進められました。災害看護についての概念的な説明から、トリアージなどの実際の災害時の看護について必要なことや精神看護について、更には災害看護教育について語られました。

普段できないことは災害時にできないので、いかに日常的に意識を持って患者さんと接することが大切であることや、盲目の方との出会いの中から、一般的に言われている「災害弱者(子ども、女性、高齢者、障害者)」という言葉が「災害時に支援優先度が高い人」とご自身では表現されているという経験に裏打ちされたお話がとても印象的でした。



(以上文責：事務局仲江川徹)

これまでの活動記録8/1～8/31

- 8/ 4 JICA留学生セミナー受入(～9日)
- 8/ 5 龍谷大学にて講演
- 8/ 6 JICA研修センター参加
- 8/ 7 藤原紀香アガスタ写真展協力(～12日)
- 8/17 専門セミナー開催
はたっこ太鼓トリビュート地震支援サティコンサート
- 8/19 JICA開発教育セミナー参加
- 8/26 枚方第3中学校にて講演

ありがとうございます。

会員・寄付者ご芳名(以下順不同・敬称略)

一般寄付<8/1～8/31まで>

浦崎なぎさ(大阪府)、赤田義久(兵庫県)、本多事務所、成毛典子(以上東京都)

新規会員<8/1～8/31まで>

・賛助会員

個人: 上田敬子(大阪府)、須藤剛(栃木県)、折笠英夫(千葉県)、宇田川規夫(神奈川県)、佐竹陽子(滋賀県)、杉田文夫(兵庫県)

企業: アニメックス(大阪府)

■編集・発行 CODE海外災害援助市民センター
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10
TEL : 078-578-7744 FAX : 078-576-3693
e-mail info@code-jp.org URL <http://www.code-jp.org/>
郵便振替: 00930-0-330579